

再び白浜町沿岸にオオクビキレガイが漂着

Hiroshi MINATO, Shin KUBOTA and Shingo HABU : The second report on *Rumina decorallata* (Gastropoda, Pulmonata) drifted ashore to Shirahamacho, Wakayama Prefecture

湊 宏*・久保田 信**・土生紳吾***

地中海地域を原産とするオオクビキレガイ *Rumina decorallata* (有肺亜綱; オカクチキレガイ科) は、湊・魚住 (1991) によって北九州市戸畑区、門司区からわが国で初めて確認された外国 (地中海沿岸地方) からの移入陸産貝類である。本種は、その後、北九州市の他所、福岡県遠賀郡、宗像郡、山口県宇部市などでもその繁殖が確認された (増野, 1992 ; 魚住, 1996 ; 湊, 2000)。本県においては湊・久保田・土生 (2002) が白浜町番所崎に漂着した亜成貝を報告したのが最初で、その繁殖地がどこにあるのだろうかと思像されたが、最近になって江川・玉田 (2004) によってその供給源と思われる場所が報告されたところである。

ところで、筆者の一人である久保田は 2004 年 11 月 16 日に白浜町“北浜”での漂着物の調査中に再び本種の貝殻 (今回は成貝) を拾得したので、ここに記録しておきたい。

今回採取された標本 (図 1-1) は、殻高が 21.5 mm、殻径が 10.5 mm と計測され、2002 年に本県で初めて記録された標本 (図 1-2 : 殻高 14.5 mm、殻径 7.2 mm、亜成貝) に比べて大型個体 (ほぼ成貝) であった。本種は学名・和名の通り、殻頂が欠如するのを特徴とするが、本標本は欠如箇所が修復されて、殻頂が塞がれている。また海に流されて海岸に打ち揚げたためか、殻口部 (殻口からの 5 mm 程度) が破損されている。次体層の背面部に 3 カ所ほどの小穴があって、そこから内部が見え、干からびた軟体部の残存部が確認できたので、そう遠くない場所から流れ着いたものと推定できる。江川・玉田 (2004) が田辺湾周辺で本種の生息

を確認した所は、田辺市下三栖 (梅畑) であるが、そこから死殻が河川に流れだして田辺湾に至り、潮流によって番所崎に流れついたのか、または田辺湾岸のどこかでも繁殖していて雨水等によって海に流れ出したものかなどがその供給源地として想像される。今後、新しい生息地の確認が必要である。

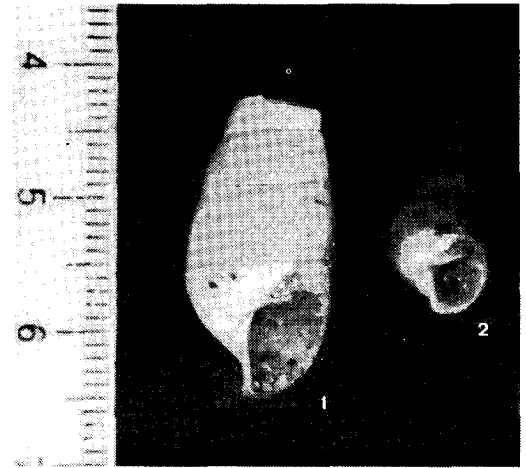


図 1 和歌山県西牟婁郡白浜町臨海通称“北浜”に 2004 年 11 月に漂着したオオクビキレガイの成貝 (1) と同地点で既に報告済み (湊・久保田・土生, 2002) の亜成貝 (2)

引用文献

- 江川和文・玉田一晃. 2004 : 和歌山県におけるオオクビキレガイの生息記録. 南紀生物, 46 (2), 106-108.
- 増野和幸. 1992 : オオクビキレガイ山口県に産す. ちりばたん, 23 (2), 55-56.
- . 2001 : オオクビキレガイの分布拡大. ちりばたん, 32 (1-2), 32-34.

- 湊 宏. 2000 : 日本に侵入した有肺類. 九州の貝, (54), 17-27.
- ・魚住賢司. 1991 : 北九州で見つかったオオクビキレガイ. ちりぼたん, 22 (3), 72-74.
- ・久保田 信・土生紳吾. 2002 : 白浜町沿岸に漂着したオオクビキレガイ (腹足綱, 有肺亜綱). 南紀生物, 44 (1), 64-65.
- 魚住賢司. 1996 : オオクビキレガイの新分布地. 九州の貝, (47), 30.
- * 〒 649-2333 和歌山県西牟婁郡白浜町中193
- ** 〒 649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459
京都大学フィールド科学教育研究センター
瀬戸臨海実験所
- *** 〒 371-0203 群馬県勢多郡粕川村月田 310-3